

教科	国語	単位数	4単位	学科・学年・コース	普通科 1年
使用教科書	東京書籍 新編 国語総合				
副教材等	国語辞典、古語辞典、図説国語（東京書籍）、基本級別漢字（浜島書店）				

月	時数	単元名 単元目標	教材名	学習内容 【言語】-単元で取り上げる言語活動	主な評価規準の具体例
4	5	1 随想 1 ▼随想を読んで、筆者のものの見方や感じ方を読み取ろう。 ▼毎日の生活において本当に大切なものは何か、考えよう。 *テーマを決めて、二時間程度のスピーチをしよう。	ルリボシカミキリの青	・読者の興味・関心を誘う随想独特の表現の工夫を理解する。(手引き1・2) ・筆者の言う「調べる。行ってみる。確かめる。」ことの大切さを理解する。(手引き3・4) ・筆者の言う「この世界のありようをただ記述したかったのだ」という意見を理解する。(手引き5) 【言語】自分の興味や関心があることを的確にまとめると同時に、わかりやすい伝え方を理解する。	[読] 筆者の意見を正確に読み取っている。(ノートの記述の確認/定期考査) [知] 常用漢字の読み書きや、語句の意味・用法を的確に理解している。(小テスト/定期考査) -Cイ・伝国イ(イ)・ウ(ア)
	6	2 小説 1 ▼表現の特色に注意しながら小説を読み、小説に親しもう。	とんかつ ■気になる言い方 ①	・全体の構成を的確にとらえて、物語の展開を理解する。(手引き1) ・母子の情愛とそれを見まもる宿屋の女主人の心情を理解する。(手引き2・3・4・5) ・作者の主張を読み取ることで、文章読解の基礎を理解する。(手引き6)	[読] 全体の場面設定や登場人物の心理変化を正確に読み取っている。(行動の観察/定期考査) [知] 小説に使われる比喩表現や情景描写、また慣用語の使い方を理解している。
5	6		果物屋のたつ子さん	・全体の構成を的確にとらえて、物語の展開を理解する。(手引き1・2) ・たつ子さんの画学生への気持ちの変化を理解する。また、画学生のたつ子さんへの気持ちを理解する。(手引き3・4) ・小説に込められた作者の主張を理解する。(手引き4) 【言語】登場人物の人物像、役割を理解する。	[読] 全体の場面設定や登場人物の心理変化を正確に読み取っている。(行動の観察/定期考査) [知] 小説に使われる比喩表現や情景描写、また慣用語の使い方を理解している。(小テスト/定期考査) -Cイ・伝国イ(ア)・(イ)
	3		〔言語活動7〕 情報を読み取る	・グラフや表の見方を理解する。 ・グラフや表の数値を読み取り、そこから読み取れることを理解する。 ・グラフや表から読み取り、考えたことをもとに、自分の考えをまとめ、話し合う。	[話] 得た情報や考えたことに基づいて話し合い、考えを深めている。(行動の観察) [読] 多様なメディアから情報を的確・適切に取り出し、その意味するところを理解している。(行動の観察) -Aエ・Cオ
	1	1 古文入門(1)	古文に親しむ	・古文の仮名遣いに注意しながら音読する。	[読] 場面や登場人物の心情を表現に即して理解している。
	2	▼古文と現代文の違いを知り、古文を読む基礎を学ぼう。 ▼説話のおもしろさを通して、古文の世界に親しむ	児のそら寝 古文学習のしるべ1	・古語と現代語の違いについて理解する。(手引き1) ・話のおもしろさを感じ取る。 ・「児」がそら寝をしていることに僧たちは気づいていたかどうか話し合い、その結果を発表する。(手引き3)	〈ワークシートの記述の確認/発表の様子) [知] 古文の特徴(歴史的仮名遣いや語句など)を理解している。(ワークシートの記述の確認/定期考査)
	2	1 漢文入門(1) ▼漢文の特色を知り、きまりを理解しよう。 ▼格言や故事を読んで、漢文の世界に親しもう。	訓読の基本(訓読)	・二字熟語を例に、漢文の基本的な構造を考える。(手引き1) ・熟語をもとに、訓点(送り仮名・句読点・返り点[レ点・一二点])の知識を確認する。(手引き2)	[知] 漢文の基本的な構造を理解し、訓点の知識を身につけている。(ノート、またはワークシートの記述の確認/定期考査) -伝国ア(ア)・(イ)
			訓読の基本(格言1)	・格言の現代語訳をする。(手引き1) ・返読文字の知識を確認する。(手引き2)	[知] 返読文字について理解している。(ノート、またはワークシートの記述の確認/定期考査) -伝国ア(ア)・(イ)
			訓読の基本	・訓点に従って、訓読できるようにす	[知] 書き下し文のきまりと置き

			本 (格言 2)	<ul style="list-style-type: none"> る。(手引き1) ・書き下しの知識を確認する。(手引き2) 	<p>字の用法を理解した上で、正確に訓読している。〈ノート、またはワークシートの記述の確認／行動の観察／定期考査〉</p> <p>－伝国ア(ア)・(イ)</p>
			訓読の基本 (再読文字)	<ul style="list-style-type: none"> ・再読文字に関する書き下し文の知識を確認する。(手引き1) ・再読文字の知識をもとに、漢文に返り点と送り仮名を付ける。(手引き2) 	<p>[知]再読文字について理解している。〈ノート、またはワークシートの記述の確認／定期考査〉－伝国ア(ア)・(イ)</p>
6	6	<h3>3 評論 1</h3> <p>▼評論を読んでその内容を的確に理解し、筆者の考えを読み取ろう。</p> <p>▼現代の社会におけるさまざまな問題点について考えよう。</p> <p>*話題について考えを深め、自分の意見を書こう。</p>	未来をつくる想像力	<ul style="list-style-type: none"> ・評論における筆者の論理の組み立てを理解する。(手引き1) ・「イメージの過剰」が我々の想像力を貧しくさせるといふ筆者の主張を正確に理解する。(手引き2・3・4) ・論理性に重要な理由づけを理解する。(手引き5) ・筆者の主張に対して自分の意見を深める。(手引き6) <p>【言語】情報の過多と想像力の関係を的確にとらえ、それについての考察を深める。</p>	<p>[読]「想像力を育てる」といふ筆者の意見を正確に読み取っている。〈ノートの記述の確認／定期考査〉</p> <p>[知]常用漢字の読み書きや、難解な語句の意味を理解している。〈ノートの記述の確認／小テスト／定期考査〉</p> <p>－Cイ・伝国イ(イ)・ウ(ア)</p>
	8		〔言語活動5〕 意見文を書く	<ul style="list-style-type: none"> ・現代社会の課題から、適切なテーマを探すということを理解する。 ・意見文をまとめるのに必要な情報・知識の収集方法を理解する。 ・集めた情報・知識から、自分の意見を論理的に文章にまとめることを理解する。 	<p>[書]「調査メモ」「構成メモ」が整理されている。また、問題意識を持ち、題材に対する意見を論理的にまとめている。〈行動の観察／調査メモと構成メモの記述の確認／完成した意見文の確認〉</p> <p>意見文について相互評価を行い、自分の考えを深めている。〈行動の観察〉</p> <p>[知]推敲の手順や方法を理解し、正確な文章表現を用いている。〈提出文の分析〉</p> <p>－Bイ・エ・伝国イ(イ)</p>
	6		手技に学ぶ ■ 評論の読み方	<ul style="list-style-type: none"> ・段落ごとに筆者の論旨の展開を追って、筆者の意見を理解する。(手引き1) ・評論特有の比喩的で抽象的な語句を理解する。(手引き2・3・4) ・筆者の意見から身近なものを見直して、それに関する考察を深める。(手引き5) <p>【言語】大量生産と手仕事という両極端な制作について考察を深めると同時に、深めた考察を人に伝える工夫を理解する。</p>	<p>[読]筆者が高橋さんの手仕事から考察したことを正確に読み取っている。また、「近代の工業生産」と「都市の消費生活」が手仕事に及ぼした影響という筆者の意見を正確に読み取っている。〈行動の観察／ノートの記述の確認／定期考査〉</p> <p>[知]常用漢字の読み書きを理解している。また、抽象的な表現・比喩的な表現を理解して</p>
7	2	<h3>1 古文入門 (2)</h3> <p>▼古文と現代文の違いを知り、古文を読む基礎を学ぼう。</p> <p>▼説話のおもしろさを通して、古文の世界に親しもう。</p>	桜木の精 古文学習のしるべ 2	<ul style="list-style-type: none"> ・古語の意味や省略されている語を考えながら、現代語訳を考える。(手引き1) ・場面の様子などを正確に理解し、話のおもしろさを感じ取る。(手引き2) 	<p>[読]場面や登場人物の心情を表現に即して理解している。〈ワークシートの記述の確認／行動の観察〉</p> <p>[知]歴史的仮名遣いについて理解している。また、適切に現代語訳している。〈ノートの記述の確認／定期考査〉</p> <p>－Cイ・伝国ア(ア)・(イ)</p>
	3		空を飛ぶ 倉古文学習のしるべ 3	<ul style="list-style-type: none"> ・古語の意味や省略されている語を考えながら、現代語訳を考える。 ・絵巻の絵が、本文のどの場面を描いたものか、根拠とともに説明する。(手引き1) ・話のおもしろさを感じ取る。(手引き2) 	
			1 漢文入門 (2)	<p>▼漢文の特色を知り、きまりを理解しよう。</p> <p>▼格言や故事を読んで、漢文の世界に親しもう。</p>	<p>故事一三篇 (守株)</p>

			<p>[読] 故事成語の意味に関わる内容について理解している。〈ノートの記述の確認／行動の観察／定期考査〉</p> <p>[知] 書き下し文のきまりを理解している</p>	<ul style="list-style-type: none"> 句法を確認し、「訓点」に従って訓読し、現代語訳をする。(手引き1) キーセンテンスに注目し、本文を読み取る。(手引き2) リード文と本文全体を通して、孟子の主張を読み取る(手引き3) 故事成語の意味を確認し、現在の用法を理解する。(手引き4) 故事成語のいわれや意味を確認する(手引き5) 漢文でよく用いられる呼称について、整理する。(漢文の窓1) 	<p>在の用法を理解する。(手引</p> <p>[読] 故事成語の意味に関わる内容について理解するとともに、筆者の主張を理解している。〈ノートの記述の確認／行動の観察／定期考査〉</p> <p>[知] 句法の知識を確認し、訓点に従って訓読するとともに、正確に現代語訳している。また、故事成語のいわれや意味、現代における使われ方を正しく理解している。漢文に登場する様々な名前について、理解している。〈ノートの記述の確認／定期考査〉 -Cイ・伝国ア(ア)・(イ)</p>
9	2	<p>4 詩</p> <p>▼詩に親しみ、詩を深く味わう力を養おう。</p> <p>▼比喻表現や、言葉のリズムのおもしろさを味わおう。</p>	<p>空をかついで</p> <ul style="list-style-type: none"> 口語自由詩という詩の形式や叙情詩という内容上の分類を理解する。 音読により、詩独特のリズムを理解する。 「空をかつぐ」という比喻や「少しずつ/少しずつ。」という反復法などの修辞技巧を理解し、その表現に込められた作者の思いを理解する。(手引き1・2) 	<p>[読] 「空をかつぐ」という比喻や、時代を受け継ぎ受け渡していくという詩人の気持ちや主張を正確に理解している。〈記述の確認／定期考査〉</p> <p>[知] 詩句の意味や用法を理解している。〈定期考査〉 -Cア・ウ・伝国イ(イ)</p>	
	2		<p>二十億光年の孤独</p> <ul style="list-style-type: none"> 口語自由詩という詩の形式や叙情詩という内容上の分類を理解する。 音読により、詩独特のリズムを理解する。 「ネリリ」「キルル」「ハララ」といった造語の役割を理解する。(手引き1) 「万有引力」など詩中の言葉の表現効果を理解する。(手引き2) 「二十億光年の孤独」という言葉に込められた詩人の気持ちや主張を理解 	<p>[読] 「ネリリ」「キルル」「ハララ」という造語の意味や用法を理解すると同時に、詩人の気持ちや主張を理解している。〈記述の確認／定期考査〉</p> <p>[知] 詩句の意味や用法を理解している。〈定期考査〉 -Cア・ウ・伝国イ(イ)</p>	
	2		<p>冬が来た</p> <p>■ 詩の読み方</p> <ul style="list-style-type: none"> 口語自由詩という詩の形式や叙情詩という内容上の分類を理解する。 音読により、詩独特のリズムを理解する。(手引き1) 「きつぱりと」「きりきりともみ込むやうな」という冬を表す言葉の表現効果を理解する。(手引き2) 「刃物のやうな」「公孫樹の木も箒になつた」の直喩、隠喩を理解しているか。(手引き2) 	<p>[読] 「冬の寒さ」を表現する言葉の意味を理解すると同時に、むしろ「その寒さを自分のものにしよう」とする詩人の主張を理解している。〈記述の確認／定期考査〉</p> <p>[知] 直喩、隠喩など修辞技巧を正確に理解している。〈定期考査〉 -Cア・ウ・伝国イ(イ)</p>	
	10	<p>5 小説 2</p> <p>▼小説に描かれている登場人物の心情や、情景などを、読み味わおう。</p> <p>▼場面の展開に即して、登場人物の心情の変化について考えよう。</p> <p>*登場人物のとった行動について討論しよう。</p>	<p>羅生門</p> <p>■ 小説の読み方</p> <ul style="list-style-type: none"> 平安時代末期という、この小説に描かれた時代背景やこの小説の舞台背景を理解する。(手引き1) 下人の心理がどのような状況で変化していくかを理解する。(手引き2, 3) 特に、老婆の言い訳を聞いた後の下人の心理を理解する。(手引き2, 3) 日常の中で考える善と悪と、下人のように追い詰められた状況の中で考える善と悪との違いを理解する。(手 	<p>[読] 下人の心理変化を物語の進行に従って正確に理解している。下人の盗人が飢え死にかという迷いと、盗人になる論理を理解している。〈記述の確認／定期考査〉</p> <p>[知] 小説に使われる比喻表現や情景描写、また慣用句の使い方を理解している。〈定期考査〉 -Cイ・伝国イ(ア)・(イ)</p>	
10	5	<p>2 随筆</p> <p>▼古文の表現に慣れ、文章の内容を読み取ろう。</p> <p>▼作者のものの見方や感じ方について考えよう。</p>	<p>徒然草</p> <ul style="list-style-type: none"> 「亀山殿の御池に」 「大井の土民」と「宇治の里人」の、水車を造る過程や結果の相違点や、その理由を考える。(手引き1) 結びの一文に表れている作者の考えを理解する。(手引き2) 「奥山に、猫またといふものありて」 「猫また」に対する法師の行動や心情を理解する。(手引き1・2) この章段のおもしろさについて話し 	<p>[読] 兼好法師の考えを理解し、場面描写を表現に即して読み味わっている。〈記述の確認／定期考査〉</p> <p>[知] 古文の表現に慣れて、文や文章の組み立て、語句の意味や用法を理解している。〈記述の確認／定期考査〉 -Cイ・ウ・伝国ア(ア)・(イ)</p>	

			合う。(手引き3)		
4		枕草子 ■古文の窓1 『源氏物語』にふれる 古文学習	「うつくしきもの」 ・作者が「うつくしきもの」としたものを挙げて、その特徴を理解する。(手引き1・2)	[読] 清少納言の感性を文章中の具体例によって理解している。〈記述の確認／定期考査〉 [知] 古文の表現に慣れて、文や文章の組み立て、語句の意味や用法を理解している。	
6	2 唐詩 ▼漢文を繰り返し音読し、優れた表現に親しもう。 ▼漢詩にうたわれた情景を読み取り、作者の心情を味わおう。	唐詩一八首 〔言語活動3〕 訳詩を書く ■漢文の窓2 漢詩のきまり	・「四季のころ」 「青春の旅」 「人生の喜び」の章立てを意識しつつ、各詩について、それぞれどのような状況がうたわれているかをまとめる。(手引き1) ・「四季のころ」 「青春の旅」 「人生の喜び」の章立てを意識しつつ、各詩について、それぞれどのような心情がうたわれているかをまとめる。(手引き2) ・「四季のころ」 「青春の旅」 「人生の喜び」の各詩について、それぞれの詩形・押韻を確認する。(手引き3) ・「四季のころ」 「青春の旅」 「人生の喜び」の各詩から1詩ずつ選び、それぞれ暗唱する。(手引き4) ・「四季のころ」 「青春の旅」 「人生の喜び」の各詩から対句を抜き出し、対句の構造を確認する。(手引き5) ・「漢詩のきまり」について整理する。(漢文の窓2)	[書] 理解した詩の内容を、自分の言葉で訳詩として表現している。〈記述の確認〉 [読] 各詩がうたわれた状況・各詩に描かれた状況および各詩にこめられた作者の心情について理解している。〈記述の確認／定期考査〉 [知] 詩形・押韻といった「近体詩のきまり」や、「対句」という表現技法について理解するとともに、語句の意味を理解している。〈記述の確認／定期考査〉 適切な語句を用い、訳詩を作っている。〈記述の確認〉 －Bウ・Cイ・伝国ア(ア)・イ	
11	7	6 随想2 ▼個性的なものの見方や感じ方に触れ、豊かな感受性を養おう。 ▼社会や自然の中で生きる人間についての理解を深めよう。 *興味を持ったことについて調べ、その結果を発表しよう。	待つということ ・現時点と回想部分の違いを理解して音読する。(手引き1) ・中央線の駅のホームでの筆者の体験が、どのような回想につながるかを理解する。(手引き2) ・タイでの体験が筆者に与えた感動を理解する。(手引き3) ・筆者の言う「本当の大人」を理解する。(手引き4) [言語] 「バイクタクシーの運転手」の行動を理解し、それに対する意見をまとめ、話し合う。	[読] 筆者の意見、場面転換を理解している。筆者の言う「本当の大人」の意味を理解している。〈記述の確認／定期考査〉 [知] 常用漢字の読み書きや、語句の意味や用法を的確に理解している。〈小テスト／定期考査〉 －Cイ・伝国イ(イ)・ウ(ア)	
	7	りんごのほっぺ ■随想の読み方	・ドラマ仕立ての文章を理解して、音読する。(手引き1) ・「赤いほっぺの少年」の運命を理解する。(手引き2) ・この文章に込められた筆者の気持ちと戦争の悲惨さを理解する。(手引き3, 4, 5)	[読] 時間軸に沿って筆者の体験を整理している。また、筆者の心情から自分の意見を持ち、文章の内容や形態に応じた表現の特色に注意して読んでいる。〈記述の確認／定期考査〉	
	7	3 詩歌 ▼人々に親しまれてきた詩歌を、表現の特色に注意して読み味わおう。 ▼詩歌に表れたものの見方、感じ方の伝統について理解を深めよう。	折々のうた 〔言語活動1〕 古典と現代の歌を読み比べる	[読] それぞれの歌や句について、筆者はどの言葉に注目して、批評し鑑賞しているかを理解する。(手引き1) ・それぞれの歌や句の、表現の特徴について理解する。(手引き2～4) [言語] 古典と現代の歌を読み比べる。(課題1・2)	[読] それぞれの歌や句について、筆者はどの言葉に注目して、批評し鑑賞しているかを理解している。〈記述の確認／定期考査〉 [知] 修辞技巧に注意して、歌や句を読み味わっている。〈記述の確認／定期考査〉 －Cア・イ・伝国イ(ア)
12	2	7 短歌・俳句 ▼短歌や俳句に親しみ、そこに描かれた世界を読み味わおう。 ▼短歌、俳句それぞれの形式やリズム、表現方法を理解しよう。	その子二十【短歌】 ■短歌の読み方	・五・七・五・七・七という短歌のリズムを意識して、それぞれの短歌を音読する。(手引き1) ・短歌の基本的な修辞技巧を理解する。(手引き2) ・短歌に詠まれている内容を理解し、そこに込められた歌人の心情を理解する。(手引き3) ・1首選び、その感想をまとめる。(手引き4)	[読] 読み取った歌人の心情を的確に理解し、自分なりの感想を持っている。〈記述の確認／定期考査〉 [知] 短歌に用いられている修辞技巧を理解している。〈記述の確認／定期考査〉 －Cア・ウ・伝国イ(ア)
	6		〔言語活	[書] 定型、季語、切れ字などの	

			動4] 俳句をつくる	し、お互いに批評する。 ・定型、季語、切れ字などの俳句の決まりを理解して、俳句の表現方法を理解する。	俳句の決まりを理解して、俳句の表現方法を理解した上で、自らの表現をしている。また、相互に評価をし、ものの見方や感じ方を豊かする。
1	8	3 史話 ▼話の展開に即して、内容を理解する力を身につけよう。 ▼登場人物の生き方や考え方を読み取り、史話う。	史話一三編 (魏武捉刀) 史話一三編 (華・王之優劣)	・登場人物がとった行動の意図を理解する。(手引き1) ・文脈から、登場人物の心情を理解する。(手引き2) ・漢文読解のために必要な再読文字の知識を確認する。(手引き3) ・句法や漢文に頻出する基本的な語彙の意味に注意しながら、現代語訳する。(手引き1) ・登場人物の発言から、その心情を理解する。(手引き2) ・文脈を整理し、本文の主旨を理解する。(手引き3)	[読] 文脈を整理し、登場人物のとった行動の意図を理解している。〈記述の確認/定期考査〉 [知] 漢文読解のための基本的な語として、再読文字を理解している。 [読] 登場人物の発言の内容から、その性格や心情を理解し、本文を「起承転結」の流れで整理し、本文の主旨を理解している。〈記述の確認/定期考査〉 [知] 句法や漢文に頻出する基本的な語彙の読みと意味とを確認し、訓読するとともに、正しく現代語訳している。〈記述の確認/定期考査〉
2	10	8 小説3 ▼小説を読んで、登場人物の考え方や生き方について考えよう。 ▼生と死や極限状態における人間の姿について深く考えよう。 *テーマを決めて調べたことを、さまざまな工	沖縄の手記から ■敬語を使う時に	・この小説の場面の移り変わりや主人公の心情を理解する。また、長い文章の場面展開を正確にとらえて、舞台となっている時代背景を理解する。(手引き1) ・登場人物の置かれた状況や人間像を理解する。(手引き2, 4) ・戦闘状態の中の私と当間キヨの心情を理解する。(手引き3, 4, 5) 【言語】 沖縄戦の経緯について図書館やインターネット等で調査発する。	[読] 私と当間キヨのやりとりから、現場の状況や2人の心情の変化を正確に読み取り、そこに込められた作者の主張を理解している。〈記述の確認/定期考査〉 [知] 難解な語句や昔の状況を示す言葉を辞書や図説等で調べて理解している。〈定期考査〉 -Cイ・伝国イ(イ)
	8	4 論語 ▼孔子の学問・人間・政治の在り方についての考えをとらえよう。 ▼孔子の思想を通して、	論語一八章 (学ぶということ) 論語一八章 (人間を見つめる)	・「学ぶということ」の三章について、各章の内容を理解するとともに、孔子の説く「学問」「学ぶ姿勢」についてまとめる。(手引き1) ・『論語』が出典となった、現代に生きる漢語を理解する。(手引き2) ・「人間を見つめる」の三章について、各章の内容を理解するとともに、孔子の説く「人間像」についてまとめる。(手引き1) ・『論語』が出典となった四字熟語をもとに、四字熟語への理解を深める。	[読] 孔子の「学問観」を理解している。〈記述の確認/定期考査〉 [知] 『論語』が出典となった年齢を表す漢語を調べる。 [読] 孔子の「人間観」を理解している。〈記述の確認/定期考査〉 [書] 「巧言令色」の意味を理解し、反対の意味を持つ四字熟語を調べ、正しく文章で表現
3	5	4 物語 ▼物語の登場人物の行動や心情を表現に即して読み味わおう。 ▼古人の生き方や考え方を知り、物語を楽しもう。	伊勢物語 [言語活動2] 古典を自分の言葉で書き換える ■古文の窓2 恋愛と結婚	「芥川」 ・本文と『伊勢物語絵巻』を見比べて対応関係を知る。(手引き1) ・本文の記述から「女」の人物像を理解する。(手引き2) ・和歌に込められた「男」の心情を理解する。(手引き3) 「筒井筒」 ・全体を三部に分けて、それぞれあらすじを書く。(手引き1) ・筒井筒の女と高安の女を、その振る舞いや性格、詠んだ歌について比較して理解する。(手引き2)	[読] 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して理解している。〈記述の確認/定期考査〉 [知] 古語の意味を理解し、古典への興味を高めている。〈記述の確認/定期考査〉 -Cイ・伝国ア(ア)・(イ)
	4		平家物語 古文学習のしるべ	「木曾の最期」 ・本文を音読して、義仲と兼平が最期を遂げるまでの戦いの推移をたどる。(手引き1)	[読] 文章に描かれた人物、情景、心情などを表現に即して理解している。〈記述の確認/定期考査〉